

議事要旨

1. 開催概要

名 称：令和 7 年度新潟市人権教育・啓発推進委員会

日 時：令和 7 年 10 月 8 日（水） 13:30～14:30

場 所：新潟市役所本館 6 階 講堂 1

委 員：出席 9 名 欠席 0 名

事務局：新潟市広聴相談課市民相談室

新潟市子どもの権利相談室事務局出席

2. 議事要旨

■議題 1 本市の人権に関する主な取り組み（資料 1）

- ・資料 1 について事務局から説明

【委員からの主な意見】

なし

■議題 2 新潟市人権施策の実施状況（資料 2）

- ・資料 2 について事務局から説明
- ・新潟市子どもの権利相談室について相談室事務局より説明

【委員からの主な意見】

○子どもの権利相談室について

- ・独立して新潟市子どもの権利救済委員会というのがあるのか。また、勧告は救済委員名で出すのか。

回答> 救済委員 3 名が事案について最終的な判断、対応をし、勧告を出すことになる。

- ・相談方法で、子どもがよく使いそうな LINE が入っていないのはなぜか

回答> LINE は即時性が問われる性質があるが、今は 24 時間受付できる体制になっていないため導入が難しかった。

- ・組織の独立性についてはどうなっているか

回答> 独立した組織としているが、こども政策課が設置している機関である。相談案件の内容や対応について事務局として一切口出しはしないが、最低限の情報の把握といったところはある。

- ・相談の入口は、どこからが多いか
回答>電話が一番多い。他に web フォーム、メール。

○分野別人権施策

- ・予算、決算額の記載について工夫が必要。
- ・人権教育・啓発推進計画の周知を市 HP でするにあたり、そこへの誘導についても周知が必要では。
- ・各事業の目標設定について抽象的な記載が多く、もう少し具体的に記載したほうがよい。
- ・人権イラスト展を継続して実施している中で、教職員、中学生には人権研修や講座があるが、小学生向けにも人権教育に関係するような内容の企画があると、人権イラスト展の募集や、こどもの心の情勢にもつながっていくのではないか。
- ・外国にルーツのあるこどもたちのサポートについて、文科省の調査で小学生、中学生で学校へ行っていない子ども、学校へ行っても学力や日本語についてサポートが必要な人数等数字が出ているが、全国調査ということで、市としてそういったデータは持っているか。

回答>令和7年度、市内小中高で外国にルーツがあり日本語のサポートを受けているのは81名